

単元名	それいけ！糍谷食育キャラバン隊！		学年	5 年生
内容	A_もののづくり		総時間数	35
目標	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社、本校栄養士（以下、クライアントとする。）の思いや願いを受けて、糍谷小の児童や家族、糍谷の町のために、食の大切さや食に親しむことの楽しみについて伝えるためのものづくりができる。			
指導計画の概要				
学習過程	主な学習活動			外部連携・教材等
コンセプト	【シダックスの方の話を聞き、学習の見通しをもつ。】 ○「おおたの未来づくり」の概要を知る。 ○本校の給食に関わってくれているシダックスの方々、栄養士の話を読み、給食が出来上がるまでにどのような仕事をしているのか知るとともに、給食に対する思いや願いを受け取る。 ○クライアントの思いを受けて、自分たちにできることを話し合う。 グループをつくり、取り組むテーマとつくるものについて設定する。それをつくることで、糍谷小や町に対してどのような未来の創作をしていくか考える。			シダックスのスタッフ 栄養士
デザイン	【クライアントの思いに沿ったものづくりを行う。】 ○選択したテーマ達成のためにどのようなものを作るか考える。 献立であれば、どの材料を使って、どのようなメニューをつくるのか。紙媒体であれば、どのような内容・構成にするのかについてグループで話し合う。 【多角的な視点から食について捉える。】 ○いかに記載した、他教科との			シダックスのスタッフ 栄養士
クリエイション	【PDCAサイクルを回し、よりよいものに作り変える。】 ○クライアントへの提案をし、内容について「well being」を達成するに近づいているかという視点から、フィードバックをもらう。それを基に、内容を再考する。 【発表準備を進め、作ったものを発信する。】 ○完成したものをクライアントに伝える。 テーマと設定の理由、作ったものとそのポイント、学習の中での気づき、作ったものを学校や地域に広げることで、どのような世界の創造につながるかの視点から企業に伝える。 ○つくったものの魅力を発信する方法を考え、準備する。 ・給食の放送　・ポスター　・献立表へのコメント　など ○発信する。 ○作ったものがどう受け取られたのか調査し、学習活動を振り返る。			シダックスのスタッフ 栄養士
本単元を行うために授業時数を削減する教科等、本単元で補完する内容及び削減する授業時数				
教科名等	本単元で補完する内容			授業時数
国語	話すこと・聞くこと	◆食べた感想を言葉で表す。 味覚を表す言葉や様々な感覚を想像し、「おいしい」という言葉を使わず、食べ物の様子を伝える。		5
	書くこと	◆よりよい食生活のために、これまでに学習してきたことを伝える方法を考える。		
社会 (第5学年)	農業	◆食料生産 米づくり 食料自給率		5
算数 (第5学年)	データの活用	◆データの活用 好きな献立や苦手な食材についてアンケートやインタビューを行い、表やグラフに表し、資料から読み取りを行う。		5
理科 (第5学年)		◆醤油から食塩を取り出す。 物の溶け方の水溶液から食塩を取り出す学習を、普段使っている調味料を用いて行う。濃口醤油と減塩醤油では含有食塩量に違いがあることも捉える。		5
家庭	衣食住の生活	◆みそ汁をつくる。 だしの取り方を知り、4種類のだしの飲み比べを行う。 塩分濃度の異なるみそ汁を作って飲み比べ、塩分差の違いについて体験する。		0
	衣食住の生活	◆栄養素を知る。 健康な身体をつくるためには、5大栄養素をバランスよく摂取すること。それぞれの食品にはどの栄養素が含まれているのか知る。		
	衣食住の生活	◆7種類の米を炊いて食べ比べをする。 社会科「米作りのさかんな地域」の学習から広げ、日本各地のブランド米や外国の米を食べ比べる。		
体育	保健	◆食塩量を意識した食事について考える。 食塩の身体への役目と影響について知るとともに、減塩の必要性について捉える。普段食べているメニューを減塩するには、どのような方法がとれるか考える。		0
総合	・地域の人、もの、ことの中から問いを見いだし、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理、分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けている。			15